



【発信日】令和7年6月25日

【問い合わせ先】

大野市役所（2階 24番窓口）

地域づくり部地域文化課 五十川、清水

電話 0779-64-4834

（仮称）乾側地域交流センターのパース図が完成しました

～集い、関わり、育まれる地域交流拠点～

令和6年3月に策定した「（仮称）乾側地域交流センター」整備基本計画に基づき、旧乾側小学校体育館を活用して整備する、（仮称）乾側地域交流センターのパース図が完成しました。

記

1 （仮称）乾側地域交流センター整備のポイント

第六次大野市総合計画、基本目標5「地域づくり」分野「みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち」の実現に向けて、「集い、関わり、育まれる地域交流拠点」を基本コンセプトに、以下の点を整備ポイントとして、令和8年秋の供用開始を目標に整備します。

（1）木造平屋建 （2）体育館一体型 （3）冠水対策（地盤高を上げる）

（4）冬期の積雪や景観に配慮 （5）ユニバーサルデザイン （6）施設規模は現況より小さく

（7）ZEB化

※参考「（仮称）乾側地域交流センター」整備基本計画の概要

2 令和7年度整備内容

（1）（仮称）乾側地域交流センター整備

構造	木造平屋建
完成予定	令和8年11月下旬
事業費	326,056千円（継続費 令和7年度～8年度） （工事請負費311,672千円 監理委託料14,384千円）

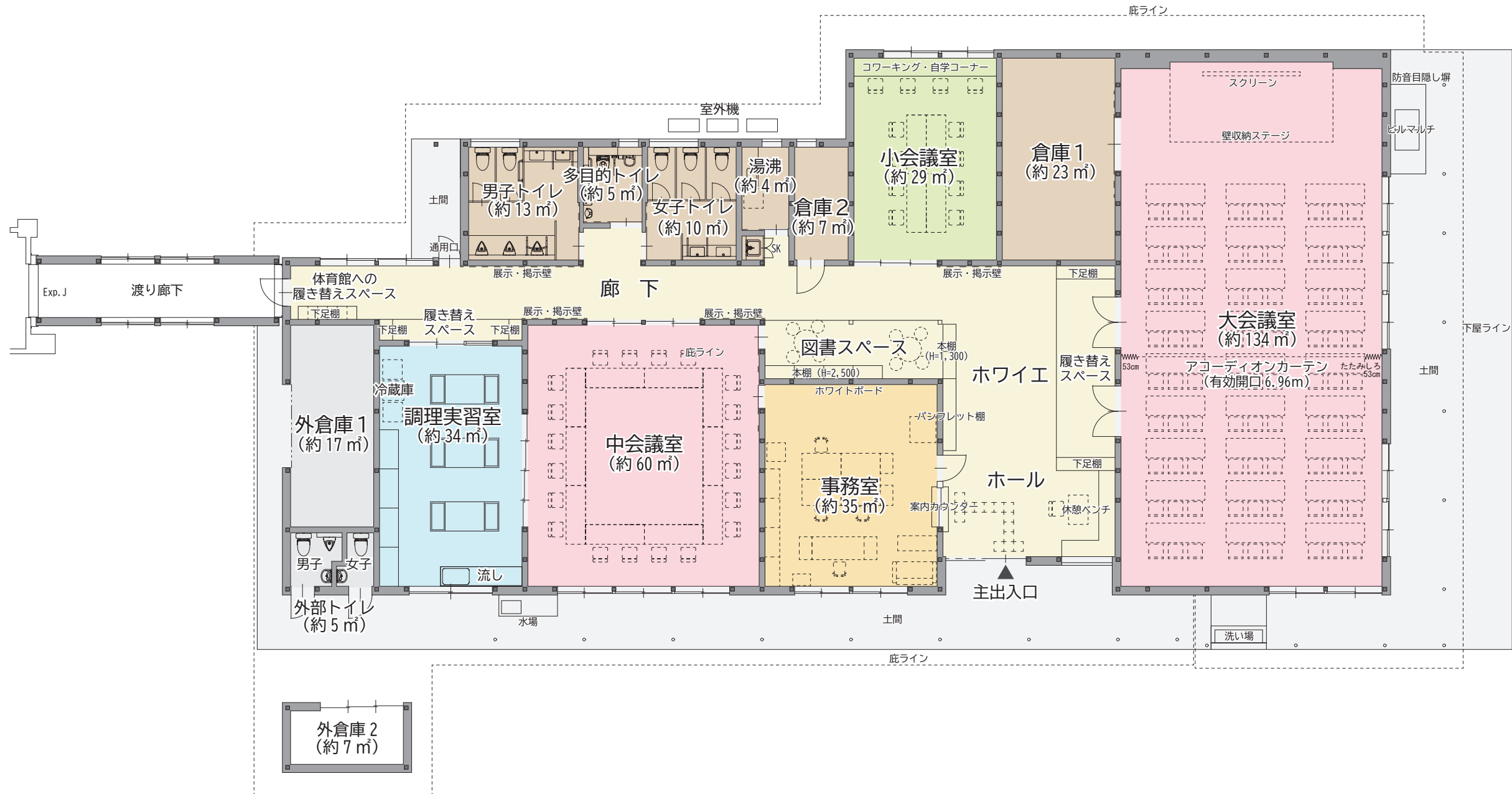
（2）外構第1期工事

整備内容	敷地の嵩上げ工事等
完成予定	令和7年12月上旬
事業費	24,000千円

3 全体整備スケジュール
別紙スケジュールのとおり

4 全体整備期間 令和7年度～令和9年度（3年間）





■整備スケジュール

整備	令和7年度			令和8年度			令和9年度		
	4～7月	8～11月	12～3月	4～7月	8～11月	12～3月	4～7月	8～11月	12～3月
交流センター整備									
体育館改修									
外構工事									
水田工事									

1. 現状と課題

●地区の魅力

- ・小規模な地域の利点を生かし、地区団体の活動が活発
- ・春はシバザクラ、夏には蛍の乱舞など自然が豊か

●地区の現状と課題

- ・高齢化率49.04%で、市全体（37.75%）よりも高い
- ・2040年には人口が16%程度減少の見込み（2024年812人 → 2040年683人）



●公民館の利用状況

- ・令和元年12月から「放課後子ども教室」を公民館で実施しており、近年の利用者は増加傾向。
（令和5年度実績 利用者6,539人、うち放課後教室3,347人）
（令和4年度実績 利用者4,957人、うち放課後教室2,379人）

●施設の課題

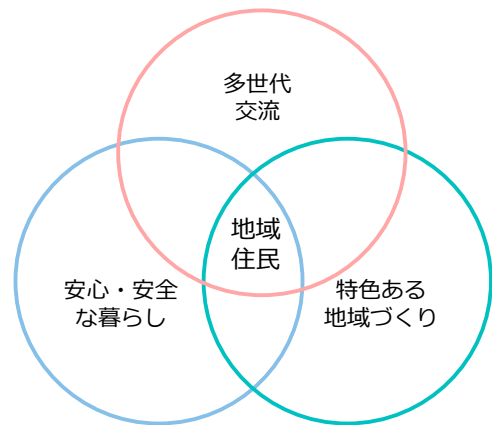
- ・バリアフリー対策が必要
- ・男女別トイレの設置が必要
- ・施設の老朽化対策が必要
- ・冠水対策及び駐車スペースの確保が必要



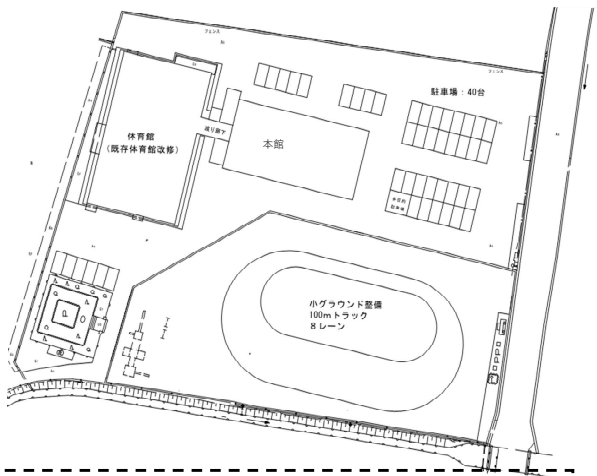
2. 施設整備の目的と基本コンセプト

【第六次大野市総合計画】
基本目標5「地域づくり」分野
『みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち』
の実現に向けて
住民主体の地域づくり活動の誘発、
地区への愛着の醸成など、地域の活性化につなげることを目的として整備します。

基本コンセプト
集い、関わり、育まれる地域交流拠点



【 交流センターの全体配置案 】



交流センターは、子どもから高齢者まで、

- ・ 誰もが集い学びあう交流拠点
- ・ 地域住民の安全・安心な暮らしを守り育む拠点
- ・ 特色ある地域づくりが促進される拠点

複合的な機能を有する乾側地区の中心拠点として位置付けます。

3. 施設整備の基本的な考え方

地域交流センター

整備方針		施設の機能	
1	人々が集い、利用したくなる施設 地域のつながりと地域への愛着を育む	1	集い・学びあう地域づくり 集会・レクリエーション 生涯学習 子どもの居場所づくり
2	地域の健康と知識を育む施設 自分らしく健康で生きがいのある暮らしを育む	2	安心・安全な地域づくり 防災・減災（防災拠点） 健康づくり 地域での支え合い助け合い（子ども・高齢者の見守り等）
3	地域の安心と安全を守る施設 だれもが安全に安心して暮らすことができる	3	特色ある地域づくり 地域課題解決（次世代地域の創造）（地域活性化）（集落機能保全）
4	特色ある地域づくりが実践できる施設 地域課題解決など住民の望む地域づくりが実践できる	4	行政との連携窓口 行政との橋渡し オンライン窓口 投票所
5	市民が気軽に相談できる施設 地域の悩みや市の施策について気軽に相談できる		

- 施設の整備ポイント
- ①木造平屋建
 - ②体育館一体型
 - ③冠水対策（地盤高を上げる）
 - ④冬期の積雪や景観に配慮
 - ⑤ユニバーサルデザイン化
 - ⑥施設の規模は、現況より小さく
 - ⑦ZEB化

●諸室の想定

名称	【現】 乾側公民館	【新】 仮称センター本館	摘要
エントランス	○	○	
ホール	—	○	図書スペース
事務室	1	1	
応接室	1	—	
調理実習室	1	1	
図書室	1	—	
大会議室	1	1	
ステージ	○ (大会議室内)	○ (大会議室内)	
中会議室	1	1	放課後子ども教室兼ねる
小会議室	—	1	応接室を兼ねる
内倉庫	1	1	
外倉庫	1	1	
内トイレ	1	1	
外トイレ	—	1	
通路	○	○	

※機能を有している物は○、会議室などは部屋数を表記

4. 事業スケジュール

年度	仮称センター本館 改築	体育館改修	小グラウンド 駐車場等	校舎解体等
R6	実施設計	実施設計	測量、設計	校舎等解体工事 水田設計
R7	完了 改築工事	完了 改修工事	完了 駐車場等工事	完了
R8	供用開始	供用開始	完了 小グラウンド 工事	公民館解体工事 完了
R9			供用開始	水田復元整備工事 完了

【令和6年度】
校舎、園舎、プール解体工事
仮称センター本館改築及び体育館改修実施設計
小グラウンド・駐車場・外構工事設計・測量
水田復元整備設計

【令和7年度】
仮称センター本館改築工事、体育館改修工事

【令和8年度】
現公民館解体工事、小グラウンド整備工事

【令和9年度】
水田復元整備工事